

03.バッキンガム宮殿



バッキンガム宮殿はエリザベス女王のロンドンの公邸であるとともに今でも使用されている世界でも数少ない王宮の一つです。

部屋数は、スイートルーム 19、来客用寝室 52、スタッフ用寝室 188、事務室 92、浴室 78、部屋総数 775 室もある。

宮殿に勤務する人は約 450 名いて王族たちを補助する侍従 50 人は同じ宮に住み込む。

この宮殿は 1703 年にバッキンガム公ジョン・シェフィールドが自らの邸宅として建設し、その後 1825 年に 12 年かけて全面改築に着手した。建築家ジョン・ナッシュの忠告もあり、それまでルネサンス様式だった建物をネオクラシック様式へと変えた。宮殿正面広場には、ヴィクトリア記念碑が建立されており、その向うではセント・ジェームス・パークとトラファルガー広場につながるザ・マルが、見られます。

バッキンガム宮殿の見どころとして衛兵交代があげられる。私達は開始 40 分前ほどから場所を確保しその時を待った。

遠くから先にマーチが聞こえ、その後赤い衣装を身にまとった衛兵がみえてくる。堂々としてその姿は歴史を感じるとともにとても見応えがあった。

成木 俊介